

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎	論理学 Logic	必修	講義	1	30	30						論理学は正しく考えるための思考の法則だけでなく、それと並んで存在と思考の関係・世界と人間のあり方なども関連して学ぶ。
		看護と人間工学 Nursing and ergonomics	必修	講義	1	16	16						看護の場面では物理的なものの方や、人間の体の運動生理学と力学を関連させたメカニズムを理解し、安全・安楽な移動の援助に活用する。
		情報科学 Information science	必修	講義	1	16	16						情報科学社会にある現代の個人情報の意味や課題などを学び、パソコンや携帯端末など、ネットワークを利用する中で様々な情報やデータを取り扱うために必要となる基本的な知識、能力を身に付ける。
		健康と運動の科学 Science of Health and Exercise	必修	講義	1	24	24						青年期にある学生が心と体を一体化してとらえ、健康と運動についての理解と運動の合理的な実践法を学ぶ。
		生物学 Biology	必修	講義	1	16	16						授業では生命科学の基礎をまとめ、最新の生物学の研究にも触れながら、これまで生物学を体系的に学んできていない学生に対して、多細胞生物の一個体であるヒトの生物学的知見をまとめる。
		看護に必要な統計学 Statistic for Nursing	必修	講義	1	30		30					統計学の基本的な理論を理解する。Excelの分析ツールを活用したデータの整理、基本統計量の求め方、グラフなどを用いた表現方法などを修得する。
	人間と生活、社会の理解	コミュニケーション論 Communication	必修	講義	1	16	16						コミュニケーションの基本を押さえて、それを日々どう活かしていくか、自分の伝えたい事をどのように相手に理解してもらうかを学んでいく。
		人間関係論 Human Relations	必修	講義	1	16	16						心理学的視点から他者が抱えている悩みへの共感や、感情的・認知的理解、人間関係の基礎的知識を深める。
		教育学 Pedagogy	必修	講義	1	30	30						人間の発達と教育の思想・制度といった観点から看護における教育的役割および生涯学習、教育の意義について理解を深め、考察する。
		環境学 Environmental	必修	講義	1	16	16						自然環境、社会環境、都市環境など、人間の生活を取り巻く環境とその人間、動植物への影響について学ぶ。
		英語と英会話 English conversation	必修	講義	1	30	15	15					医学英語、看護英語の理解を中心に学習することで日常的に医療の現場で英語が理解できる力に結びつく。日常のコミュニケーション方法、医療現場で必要となる英語力を身につけるための学習とする。
		こころの援助論 Mental support	必修	講義	1	16		16					心のはたらきや問題を理解し心理学の知識と技法を用いて対象とかわる方法を学ぶ。
		家族論 Family	必修	講義	1	16			8	8			家族にまつわる様々な諸相について学ぶ。 また、家族論や家族システム論など、家族看護学を習得するために基礎となる理論について学ぶ。
		倫理学 Ethics	必修	講義	1	16			8	8			倫理的な考えを通して、人間の存在、価値観、ものの見方を学び、自分の倫理観を持つことができる。
		看護と音楽 Nursing and music	必修	講義	1	16			8	8			音や音楽の成り立ち、人間と音楽との関係について考えていくと共に、音楽が人体へ与える影響についても学ぶ。
		解剖学Ⅰ (消化器・呼吸器・循環器・血液・内分泌) Anatomy I (digestive organ, respiratory organ, circulatory organ, internal secretion)	必修	講義	1	30	30						人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学Ⅱ (骨筋系・腎泌尿器・生殖器・感覚器) Anatomy II (musculoskeletal, kidney, urinary organ, sensory organ)	必修	講義	1	30	30						人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。
		解剖学Ⅲ (脳・神経系) Anatomy III (cranial nerves)	必修	講義	1	16	16						人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。
		生理学Ⅰ Physiology I	必修	講義	1	30	30						系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして細胞・組織・器官系の機能、人体における役割について学ぶ。
		生理学Ⅱ Physiology II	必修	講義	1	30		30					系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして細胞・組織・器官系の機能、人体における役割について学ぶ。
		代謝生化学 Metabolic Biochemistry	必修	講義	1	30		30					生体の成り立ちと最小基本単位である細胞の構造や役割、生体を構成している基本物質、生体で起きている代謝機能について学ぶ。
		病理学 Pathology	必修	講義	1	30	30						用語の理解、そして構造の異常、機能の異常を学ぶ。症候論と各疾患の症状・診断・治療を学ぶために、まず臓器や細胞の変化を理解する。
	疾病の成り立ちと回復の促進	臨床栄養学 Clinical nutrition	必修	講義	1	30		30					主要食品の栄養学的意義を学び、各栄養素の消化・吸収について学ぶ。健康の維持・増進及び回復を図るための食事について学ぶ。

看護学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	疾病の成り立ちと回復の促進	感染症と微生物 Infection and microbiology	必修	講義	1	30		30					微生物は多種多様で、ヒト、動植物と密接な関係を持っている微生物について概略を知り、微生物を制御する方法、感染症発生の仕組みを理解する。
		臨床薬理学 Clinical Pharmacology	必修	講義	1	30		30					重要医薬品について焦点をあて、体系づけて学習を進めていく。まず、薬物の人体へのはたらきと生体側の対応を理解し、看護師の視点に方向づけ考えていく。
		疾病論Ⅰ (呼吸器・循環器) Nosography I (respiratory organ, circulatory organ)	必修	講義	1	30			30				人間の基本的な機能である。呼吸機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる。
		疾病論Ⅱ (血液・消化器・内分泌) Nosography II (blood, circulatory organ, internal secretion)	必修	講義	1	30			30				人間の基本的な機能である。造血機能・消化機能・内分泌機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる。
		疾病論Ⅲ (脳神経外科系・脳神経内科系(膠原病)・運動器) Nosography III(neurosurgical, collagenosis, locomotor organ)	必修	講義	1	30			30				人間の基本的な機能である。脳・脊髄機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる。
		疾病論Ⅳ (腎泌尿器・男性生殖器・女性生殖器) Nosography IV(kidney, urinary organ, genital organ)	必修	講義	1	16			16				人間の基本的な機能である。腎泌尿器、生殖器が障害された状態の診断、症状、検査、治療、処置等について学ぶ。
		疾病論Ⅴ(感覚器 (皮膚科・耳鼻科・眼科・歯科口腔外科) Nosography V(Sensory organs (Dermatology, Otolaryngology, Dentistry, Oral and Maxillofacial Surgery))	必修	講義	1	24			24				人間の基本的な機能である。感覚器が障害された状態の診断、症状、検査、治療、処置等について学ぶ。
		疾病論Ⅵ (精神疾患・小児疾患・産科の異常) Nosography VI(psychiatric, pediatric, obstetric)	必修	講義	1	30				30			妊産期、分娩期、産褥期、新生児期の異常について学ぶ人間の基本的な機能である。精神の機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる。人間の基本的な機能である。小児の成長発達に障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる。
		臨床治療論 (外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション) Clinical Treatment	必修	講義	1	30				30			さまざまな健康の段階で行われる外科的治療・放射線療法・リハビリテーション療法について学ぶ。医療現場のあらゆる場面で取り扱われている医療機器のメカニズムを理解し、使用するための看護上の原理原則について学ぶ。
		臨床検査とME機器 Laboratory Medicine	必修	講義	1	16				16			医学の発展に伴い医療分野では多くの検査が実施され、診断するための重要な役割を果たしている。検査は何のために行われ、またどのような方法で実施されているか等、検査内容と疾患とのつながりを機器別に理解すること、臨床検査の基礎知識を習得することを目的とする。ME機器の安全な取り扱い方や原理と実際について学ぶ。
	健康支援と社会保障制度	医療概論 Introduction to Medical Care	必修	講義	1	16	8	8					看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で看護の機能、役割を理解する。また、人間理解を基盤とし、専門職業人としての倫理の態度を養う内容とする。
		チーム医療論 Team medicine	必修	講義	1	16	8	8					異なった専門性の高い各々の分野が知識と経験を持ち寄り、その連携から最良の結果を求めるために、講義とグループワークを通してチーム医療の必要性とコミュニケーション力を身につける。
		公衆衛生学 Public Health	必修	講義	1	30			15	15			公衆衛生学の概念、方法の基礎を学ぶ。一次予防、二次予防及び三次予防とは、その理論に基づき、環境諸要因が個人・集団の健康あるいは社会生活に及ぼす影響について理解を深める。
		社会保障制度論 Social Security System	必修	講義	1	16				16			社会保障と社会福祉の概要を体系的に理解すると共に、社会や経済の変化を理解し、今後の社会保障、社会福祉の方向や動向を学ぶ。
		社会福祉論 Social Welfare	必修	講義	1	16					16		社会保障制度のうち、社会福祉における各分野の実態と課題を知り、それに対する施策を学ぶ。
		医療と法律 Medicine and the Law	必修	講義	1	16					8	8	わが国の保健医療に関する諸制度の概要を理解し、人々の健康を支えるためのサービス提供機関と従事者の役割と機能に関する基本的な法律について学ぶ。
専門分野	基礎看護学	看護学概論 Introduction to Nursing	必修	講義	1	30	30						看護の基本となる概念を体系的に理解し、保健・医療・福祉の広い視野で看護の機能、役割を理解する。また、人間理解を基盤とし、専門職業人としての倫理の態度を養う内容とする。
		コミュニケーション技術と学習支援 Communication skill and learning assistance	必修	講義	1	30	30						看護の基盤となる人間関係に大きく影響を及ぼすコミュニケーションの意義と方法について理解する。
		環境調整と活動・休息援助技術 Environmental coordination and assistance techniques for activity/rest	必修	講義	1	30	30						人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助に関わる援助方法の基本について学ぶ。
		食事と排泄の援助技術 Assistance techniques for eating and defecation	必修	講義	1	30	15	15					人々の健康を促進するために必要な、日常生活行動の援助に関わる援助方法の基本について学ぶ。
		苦痛の緩和・安楽確保と呼吸・循環を整える技術 Techniques for relieving pain, ensuring comfort, and regulating respiration and circulation	必修	講義	1	30		30					主要症状に対して、人間の解剖生理学的メカニズムを理解し、対象の症状を改善するために必要な援助の方法を習得する。また、医療機器使用時の援助方法を学ぶ。
		清潔・衣生活援助と創傷管理技術 Assistance for cleanliness/clothing and wound-care management	必修	講義	1	30		30					人にとっての衣生活や生活の必要性を理解する。対象や状況の応じた生活の援助技術ができる。創傷・褥瘡処置を受ける対象を理解し、基本的な援助技術を習得できる。
		診療の補助技術 Assistance techniques for diagnosis	必修	講義	1	30		30					薬物療法を受ける対象を理解し、基本的な援助技術を習得できる。検査や検査に伴う処置を受ける対象を理解し、基本的な援助技術を習得できる。
		ヘルスアセスメント Health assessment	必修	講義	1	30	15	15					看護の対象者の健康状態を把握するために必要なヘルスアセスメントについて学ぶ。フィジカルアセスメント、全身の系統的なフィジカルイグザミネーション、心理社会的側面のアセスメント、バイタルサイン測定の方法を習得する。
		看護過程の基礎 Basics of nursing process	必修	講義	1	30	15	15					看護過程の基本的な考え方、看護過程と看護理論の関係、具体的な展開方法を習得する。

看護学科

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野	基 礎 看 護 学	看護研究Ⅰ(基礎) Nursing research I (basics)	必修	講義	1	30	15	15					看護の質の向上、科学的根拠に基づく看護を目指すために看護研究の必要性が看護の役割の中に位置づけられている。学生は普段から問題意識をもつ必要性を理解し、看護研究についての基礎的知識を学ぶ。
		看護研究Ⅱ(実践) Nursing research II (practice)	必修	講義	1	30			15	15			看護研究Ⅰ(基礎)で、看護研究に関する基礎知識を学習した上で、実際に研究に取り組み、研究のプロセスを通じて研究の進め方の理解を深める。また、研究に取り組む姿勢を養う。
	地 域 ・ 在 宅 看 護 論	地域と健康 Community and health	必修	講義	1	30		30					地域で生活する人々を理解する。コミュニケーションや社会人としての基礎的態度を学ぶ。
		地域の健康と生活 Community health and life	必修	講義	1	30		30					地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場での看護の基礎を学ぶ。
		療養者と家族、諸制度 Patient and family and related system	必修	講義	1	16			16				在宅看護の目的、ケアの対象者、看護師の役割を理解し、対象となる人々のQOLに着目した在宅看護を展開する上で必要な知識を学習する。在宅看護に関する諸制度を学ぶ。
		在宅看護の実践 Community and health	必修	講義	1	30				30			地域で提供する看護を理解し、基礎的な技術を身につけ、多職種と協働する中で看護の役割を理解する内容とする。地域での終末期看護に関する内容も含めるものとする。
		在宅療養を支える技術 Practice to Nursing for Home Health Care	必修	講義	1	30					30		地域で提供する看護を理解し、基礎的な技術を身につけ、多職種と協働する中で看護の役割を理解する内容とする。地域での終末期看護に関する内容も含めるものとする。
	健 康 段 階 別 看 護	ライフサイクル各期の健康課題と看護 Health issues at each stage of the life cycle and nursing	必修	講義	1	30			15	15			看護の対象者である人間の理解を深める。ライフサイクルの各段階における心身の特徴および特徴的な健康課題を学ぶ。人間の発達について概説し、看護の対象である人間への理解を深める。さらに「ライフサイクル」理論を中心として、人間の発達に関する理論を学習する。子どもに関する考え方の変遷と発達理論、子ども期各期の成長発達の特徴や課題、および家族の理解を通して、子どもが健やかに育つための支援方法を学ぶ。成人期における成長発達の特徴と健康課題を理解し、支援の方法を学ぶ。女性のライフサイクルの特徴と思春期、成熟期、更年期、老年期における健康課題について理解し、支援の方法を学ぶ。老年期の特徴と発達課題、さらに老年期における変化ならびに生活と健康課題を理解し、支援の方法を学ぶ。
		主要症状のアセスメントと看護 Assessment and nursing of major symptoms	必修	講義	1	16			8	8			具体的な対象者の症状や治療・検査の基礎的知識とともに症状のメカニズムやアセスメントの視点、看護援助の根拠を理解する。「アセスメント-診断-援助方法」という看護実践を展開するときの基本的な思考過程を学ぶ。
		治療過程と慢性期の看護 Treatment process and Nursing for chronic phases	必修	講義	1	16					16		慢性的な健康問題をもつ各期の対象者を身体的、心理的、社会的側面より理解し、対象者が主体的に療養生活を送るために必要な看護援助について学ぶ。治療や検査を受けながら生活している対象者の日常生活行動を理解し、正確性・安全性・安楽性やさらに高い倫理観の必要性を学ぶ。治療・処置から看護実践を展開するときの基本的な思考過程にそって、看護援助の方法を学ぶ。
		急性期と周術期の看護 Acute and Perioperative Nursing	必修	講義	1	16					16		急性期看護の特徴、周術期にある各期の人々の身体的・心理的・社会的特徴や、家族を含めた健康課題、ニーズ、手術前後による生体反応と術後合併症などの心身への影響のアセスメント方法について理解を深める。
		回復期リハビリテーションの看護 Nursing for recovery rehabilitation	必修	講義	1	16					8	8	回復期リハビリテーションの看護では、障害者や家族の心理・社会的体験やそのアセスメント、セルフケアへの援助、リスク管理、社会参加への援助について学ぶ。リハビリテーションでは、対象者として障害者や家族の心理・社会的体験、方法論としてアセスメントおよび心理・社会的体験やセルフケアへの援助、リスク管理、社会参加への援助について学ぶ。運動器系、中枢神経系、呼吸器・循環器系、感覚器系の障害に対するリハビリテーションの看護について理解を深める。
		緩和ケアと終末期看護 Palliative Care and End-of-Life Nursing	必修	講義	1	16					8	8	様々な疾患の全人的痛みとその家族の苦悩を理解し、緩和ケアの基本的な考え方、患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要な技術・知識を学ぶ。
	成 人 看 護 学	成人看護学概論 Introduction to Adult nursing I	必修	講義	1	16		16					成人期にある人の特徴についてライフサイクルの視点から理解するとともに、成人の多様な健康状態や健康問題について理解する。
		回復期・慢性期にある患者の疾患別看護 Disease-specific nursing care for patients in the recovery and chronic phases	必修	講義	1	30			30				成人期にさしかかってから、外傷や疾病により新たに生じた障害とともに生きていくことは容易ではない。また、その人が再び「その人らしく生きていく」ための看護支援には高度な知識・技術を要する。セルフケアの低下した状態にある成人を理解し、支援のあり方について学ぶ。
		急性期にある患者の疾患別看護 Disease-specific nursing care for acutely ill patients	必修	講義	1	30				30			手術に伴う身体的侵襲とボディイメージの変化を理解し、手術後の機能障害、機能喪失に対する看護や手術後の継続的な自己管理に関する看護を学ぶ。
		終末期にある患者の疾患別看護 Disease-specific nursing care for patients at the end of life	必修	講義	1	30				30			終末期にある患者および家族のQOLを充実するために必要な知識・技術について学ぶ。
		看護過程の応用と成人看護技術 Application of nursing process and adult nursing skills	必修	講義	1	30					30		成人援助論で学んだ知識を基礎として、成人看護学実習Ⅱ・Ⅲに活かせるように、事例を用いて周術期・終末期にある患者の援助の必要性と根拠を考え看護技術を学ぶ。
	老 年 看 護 学	老年看護の成り立ちと考え方 Origins of gerontological nursing	必修	講義	1	30	15	15					対象となる高齢者を社会的存在の生活者として理解するために、身体的変化やその人の人生や環境などを総合的に理解し、高齢者の健康と生活を支える看護職者としての基本的な考えを学ぶ。
		高齢者の特徴的な疾患と看護 Characteristic senile diseases and nursing	必修	講義	1	30			30				高齢者は多くの症状や疾患を併存している。個々の症状や疾患をみるのではなく、状態を総合的にとらえた看護の必要性について学ぶ。
		高齢者の生活機能を高める看護技術 Nursing techniques to regulate life	必修	講義	1	30			30				老年看護においては高齢者の生活の質の向上に向け個人の可能性を最大限に発揮できるよう看護援助のあり方と実践を学ぶ。
	小 児 看 護 学	小児看護の成り立ちと考え方 Origins and concept of pediatric nursing	必修	講義	1	30			30				子どもを成長・発達していく存在としてとらえる。子どもが健やかに成長・発達を遂げる権利、小児保健の制度を理解し、子どもと家族の健康な生活への支援について学ぶ。
		小児期の疾患のアセスメントと看護 Assessment of childhood diseases and nursing	必修	講義	1	30				30			主要症状・主要疾患に対する看護について学ぶ。子どもの疾病の経過や状況に応じた看護、特徴的な症状に対する看護について学ぶ。
		小児期の患児への援助技術	必修	講義	1	30				30			子どもへの検査・処置についての看護的な知識・技術を学ぶ。

看護学科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	母性看護学	母性看護の成り立ちと考え方 Origins and concept of maternal nursing	必修	講義	1	30			30				母性看護を歴史的な歩みや概念、理論、そして現代の社会情勢などの側面からとらえとともに、女性の身体的および心理・社会的特性からの女性の健康を理解する。
		妊娠と分娩 Pregnancy and Childbirth	必修	講義	1	30			30				妊娠、分娩期の正常および異常の経過を学び、母子に対する看護を理解する。
		産褥と新生児 Perinatal and neonatal infant	必修	講義	1	30				30			産褥期・新生児期の生理的变化および異常の経過と看護実践を学習する。
	精神看護学	こころの健康と精神看護 Mental helth and psychiatric nursing	必修	講義	1	16			16				日本の中でメンタルヘルスの状況の悪化、精神保健に関わる問題を疾患の枠組みからだけでなく、人間の生の営みという視点から誰にでも起こり得る出来事としてとらえ、精神障害者について正しく理解し、精神看護について学ぶ。
		入院患者への援助 Assistance to hospitalized patient	必修	講義	1	30				30			精神医療における入院環境と治療的アプローチについて患者の自立・回復を促すための支援方法を学ぶ。実習の基本的な考え方を理解し、対象への効果的なアプローチの方法を学ぶ。
		精神症状のある患者への看護 Health assessment	必修	講義	1	30				30			精神科に特有な疾患から生じる精神症状の把握や看護について学び、精神科看護の対象となる人に適切な看護を提供するために、紙上事例を用いて看護過程の展開する能力を身に付ける。
	看護の統合と実践	国際看護 Basics of nursing process	必修	講義	1	16			8	8			国際看護では世界の健康問題と看護の現状と課題をふまえ、看護の国際協力の活動内容の実態を知り、諸外国で展開される、看護実践や国際的な支援活動について学び、国際的視野を広げる。
		救急・災害看護 Emergency and Disaster Nursing	必修	講義	1	30					30		救急看護では、救急医療体制において理解したうえで、救急患者の特徴と看護について学び、救急医療に必要な看護技術について実践を学ぶ。外傷看護では、外傷の診療体制を理解し外傷看護の実践を学ぶ。災害看護では、災害(大震災、風水害、列車事故、パンデミック等)発生時の医療体制を理解し、災害看護に関する基礎的知識・技術を理解し、災害全般における看護実践の役割を学ぶ。
		看護管理 Nursing Management	必修	講義	1	16					16		個々の看護職が患者に提供する「看護ケアのマネジメント」と、看護組織が患者に提供する「看護サービスのマネジメント」を柱として、そのために必要となるマネジメントの基礎知識や関連する法・制度について学ぶ。
		医療安全 Medical Safety	必修	講義	1	30					30		看護事故の構造分類から事故防止の考え方、事故の発生要因とその防止について学ぶ。安全対策の基礎的知識を理解する。
		看護の統合と実践 Integration and Practice of Nursing	必修	講義	1	30					30		3年間の学習内容を活用し、より臨床実践に近い形で学習し、臨床において応用できるような基礎的知識と技術を学ぶ。
		基礎看護学実習Ⅰ Basic Nursing I	必修	実習	1	45		45					入院中の対象を取り巻く環境を理解し、対象に応じた基本技術と生活援助を学ぶ。
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅱ Basic Nursing II	必修	実習	2	90			90				これまで学んできた知識・技術・態度を統合し、健康障害を持つ対象の発達段階を踏まえ、身体的・精神的・社会的側面から理解する。患者に必要な援助を明確にし、個別的な看護援助を学ぶ。
		地域・在宅看護論実習Ⅰ Community/home nursing practice I	必修	実習	2	75		75					介護を必要とする在宅や施設の療養者とその家族の生活を理解し、在宅看護を実践するために必要な基礎的能力を習得する。
		地域・在宅看護論実習Ⅱ Community/home nursing practice II	必修	実習	2	90					90		在宅療養者とその家族の生活を理解し、在宅看護を実践するために必要な基礎的能力を習得する。
		成人看護学実習Ⅰ(慢性期看護の実践) Adult Nursing Practice I (Chronic Nursing)	必修	実習	2	90			90				慢性的健康障害を持つ対象の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。
		成人看護学実習Ⅱ(急性期・回復期看護の実践) Adult Nursing Practice II (Acute and Recovery Nursing)	必修	実習	2	75					75		周手術期、または急激な健康破綻をきたした患者の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。また、患者および家族に対して、心身の安定を図り、順調な回復過程をたどるための看護援助について学ぶ。
		成人看護学実習Ⅲ(終末期看護の実践) Adult Nursing Practice III (End-of-Life Nursing)	必修	実習	2	75					75		疾病からの回復が困難、もしくは人生最後の時にある患者の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。また、患者および家族に対して、苦痛に向き合いながらも、安寧に過ごすことができるように、QOL維持にむけての看護援助
		老年看護学実習 Clinical Practice in Gerontological Nursing	必修	実習	2	90				90			老年期の健康障害をもった患者の看護を実践できる能力を養う。
		小児看護学実習(保育所・病院) Clinical Practice in Pediatric Nursing	必修	実習	2	75					75		保育所実習や病院実習を通して成長・発達過程にある子どもとその家族の理解を深める。成長・発達および健康の状態に応じた看護の役割を学ぶ。
		母性看護学実習 Clinical Practice in Maternity Nursing	必修	実習	2	75					75		妊娠、産褥、産褥および新生児の生理的变化を理解し、対象に応じた健康保持増進のため看護を実践できる基礎能力を養う。
		精神看護学実習(生活の質に応じた援助方法を考える) Clinical Practice in Psychiatric Mental-Health Nursing	必修	実習	2	75						75	精神に障がいのある対象の日常生活および社会生活を総合的に理解し、地域で生活していくための支援や関わりの意味を理解し基礎的能力をやしなうとともに、自己理解を深め、精神看護の基礎的能力を養う。
		統合実習 Comprehensive Clinical Practices	必修	実習	2	75						75	看護チームの活動に参加し、複数受持ち患者を通してこれまで学んできたことを統合して看護実践に活かすことができる。
総 時 間 数					106	3016	512	588	607	507	538	264	